

これからの季節は注意! 腸管出血性大腸菌感染症

令和5年7月12日 富山県感染症情報センター (富山県衛生研究所内) (0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和 5年第 27 週分・7月 3日 \sim 7月 9日)

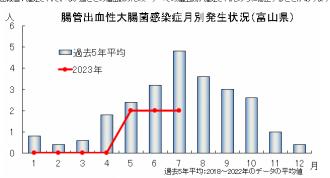
《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症は、ベロ毒素を産 生、またはVT(Vero Toxin)遺伝子を保有するEHECによ り汚染された食品を原因とする感染症です。全国では無 症状病原体保有者を含む EHEC 感染例が例年 3,000~ 3,900 件報告されており、夏季に流行のピークがみられ ます(上図参照)。県内においても7月10日現在、EHEC 感染症報告件数は6件報告されています(下図参照)。 EHEC は牛などの反芻動物に保菌されていることが多く、 これら動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水な どを汚染します。汚染された食品を加熱不十分な状態や 生のまま喫食すると3~5 日経過後に腹痛、水様性の下 痢や血便、さらに一部の患者では嘔吐や発熱などの症状 を呈します。また溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症な ど重篤な合併症を併発し、死亡する事例もあることから 免疫力が弱く重症化しやすい小児や妊婦、高齢者につい ては特に注意が必要です。原因施設としては飲食店や保



1 4 7 10 13 16 19 22 25 28 31 34 37 40 43 46 49 52 週 連幹値:確定されていない過ごとの届出数のため、すべての届出数が確定されたのちに修正することがあります



育施設だけでなく一般家庭も数多く報告されています。また同一遺伝子型(MLVA type) EHEC による広域散発例などもあることから気温・湿度が上昇し、細菌が増殖しやすい環境となるこれからの時期は下記のことに気を付け感染予防に努めましょう。

- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温(10℃以下)で保存する

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 6 件 (①第 26 週診断分: 90 歳代、女性 ②30 歳代、男性 ③60 歳代、男性 ④70 歳代、男性 ⑤70 歳代、女性

⑥90 歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件(①20 歳代、男性、O157、VT2 ②60 歳代、女性、O103、VT1)

五類感染症 アメーバ赤痢 1件(30歳代、男性、腸管外アメーバ症) 梅毒 1件(70歳代、男性、無症候)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内]上位6疾患	定点あたりの数			
順位	疾病名	今週 (増減)	先週		
1位	感染性胃腸炎	4.76 (↓)	5. 79		
2位	ヘルパンギーナ	4.66 (↓)	6.69		
3位	COVID-19	4. 58 (↑)	3.71		
4位	RSウイルス感染症	3.34 (↑)	3. 14		
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83 (1)	1.76		
6位	手足口病	1.14 (↓)	1.66		



〇感染症発生動向調査報告状況(令和5年第27週 令和5年7月3日~令和5年7月9日)

	分類	疾患	新川		<u>· 週報告分</u> - 高岡	(第27週 砺波	富山市	計	新川	累積報告数 中部	高岡	第1週(1月 砺波	1 <u>2日)~)</u> 富山市	計
	 二類感染症	結核	利川	는 무리		19万 7尺	<u>量田川</u> 3	<u> </u>	<u>利加</u> 2	— 中 即 5	- 同凹 18	14/17 //文 4	<u>富田市</u> 45	7
		腸管出血性大腸菌感染症					2	2			2	•		,
		オウム病									1			
		日本紅斑熱									'		1	_
		レジオネラ症							1	1	8	1	<u></u>	1
\vdash	 五類感染症	アメーバ赤痢					1	1	<u>'</u>	<u> </u>	0	'	2	<u>'</u>
	五块芯未址						I	1			1			
全数把握		ウイルス性肝炎									l E	1	4	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									5	1	4	
		急性脳炎										I	I	-
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									5	I	5	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									I	<u> </u>	5	
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	3	1	10	1
		水痘(入院例) 						_		1		1	3	
		梅毒					1	1			1	1	11	1
		播種性クリプトコックス症							1					
		破傷風									1			
	インフルエンザ/	インフルエンザ	1	1			1	3	792	1, 367	3, 290	1, 127	4, 694	11, 27
	COVID-19定点		0. 14 38	0. 20	58	52	0. 06 48	0. 06 220	316	201	513	316	375	1, 72
定		COVID-19 (※1)	5. 43	4. 80	4. 46	7. 43	3. 00	4. 58	010	201	010	010	070	1, 72
定 点 		RSウイルス感染症	3	4	25	24	41	97	42	77	339	167	363	98
巴 屋		(1) アルバルスル	0. 75	1. 33	3. 13	6. 00	4. 10	3. 34	E 4	2.0	177	40	1.40	1.1
_		咽頭結膜熱	1.00		9 1. 13			13 0. 45	54	36	177	40	140	44
上 没 :			3	2	17		31	53	35	10	653	3	472	1, 17
•		A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 75	0. 67	2. 13		3. 10	1. 83						
報 生		感染性胃腸炎	22	16	14	9	77	138	574	684	1, 212	793	3, 819	7, 08
设 与 数、			5. 50	5. 33	1. 75	2. 25	7. 70	4. 76 2	3	13	25	5	51	9
下 	小児科定点 (29定点)	水痘					0. 20	0. 07	3	10	20	<u> </u>	J I	3
设		手足口病		5	18	1	9	33	12	15	118	5	87	23
		于是口烟		1. 67	2. 25	0. 25	0. 90	1. 14			4			
抗		伝染性紅斑					0. 10	0. 03			I		6	
医		mm 500 kd. 500 L		1	1	1	1	4	13	22	68	21	43	16
訳 後		突発性発しん		0. 33	0. 13	0. 25	0. 10	0. 14						
官点医療幾男当 ごり		ヘルパンギーナ	10	16	51	4	54	135	56	82	523	61	366	1, 08
돌 -			2. 50	5. 33	6. 38	1. 00	5. 40	4. 66	1	1	8	2	7	1
		流行性耳下腺炎									0		1	-
D 服 与 数	眼科定点 (7定点)	流行性角結膜炎							1		20		1	2
· 文 ~	基幹定点	マイコプラズマ肺炎									5			
	(5定点)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										5		
入	院サーベイランス(5定点)	インフルエンザによる入院患者(※2) あり、今後、調査などの結果に応じて若干の変							3	3	13	18	32	69

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週(5月8日)~の集計です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)~の集計です。

(0766-56-5431 直通) (0766-56-8143 ウイルス部)

インフルエンザ定点における患者診断状況

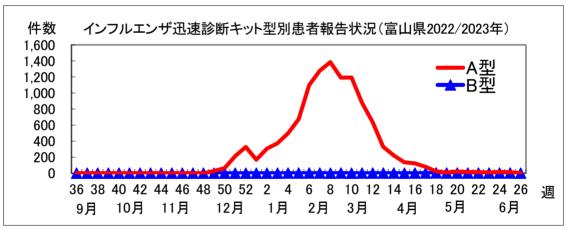
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ 迅速診断キットの診断数を集計したものです。 現在、下の表によると、A型が66.7%となっています。

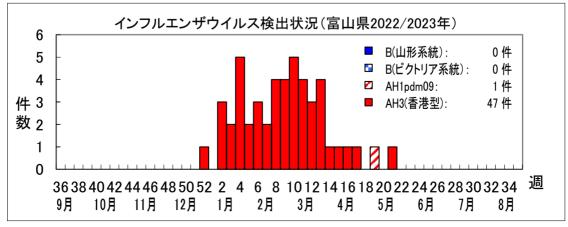
第27週(7/3~7/9	9) .	室山県	0.06 Y	/定占
277 6 / JULY 1 / / U 1 / /	<i></i>	田山木	0.007	/ Æ 氚

(単位:件)

厚生センター・	報告数/定点数	迅速診	断キット	その他 ^{※2}	合計	
保健所名	报日数/ 定点数	A型 B型			ынг	
新川	1 /7	1	0	0	1	
中部	1 /5	0	0	1	1	
高岡	0 /13	0	0	0	0	
砺波	0 /7	0	0	0	0	
富山市	1 /16	1	0	0	1	
富山県	3 /48 *1	2	0	1	3	
富山県累計(2022年36週~)		11,326	25	562	11,913	

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が3か所あったことを示します。 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





インフルエンザ情報

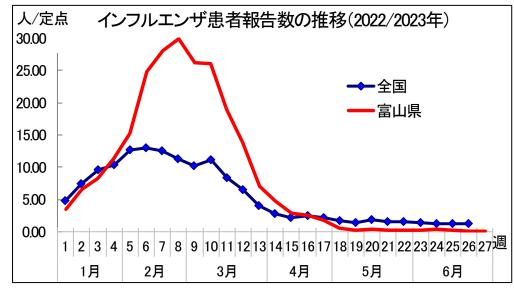


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 27 週 (7/3~7/9): 富山県 0.06 人/定点

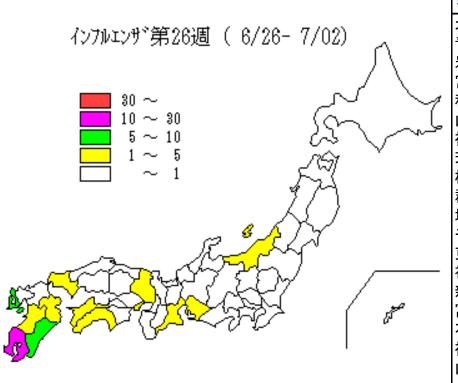
新川 HC (0.14)、中部 HC (0.20)、高岡 HC (0.00)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (0.06)

県内の患者報告数は流行の目安である1.0人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 26 週(6/26~7/2)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.26 人となり、前週の 1.20 人より増加しました。 22 府県で前週より増加しています。 24 都道県で前週より減少しています。



都道府県	人/定点
北海道	0.25
青森県	0.10
岩手県	0.21
宮城県	0.15
秋田県	0.02
山形県	0.02
福島県	0.76
茨城県	0.82
栃木県	0.29
群馬県	0.25
埼玉県	0.87
千葉県	0.78
東京都	0.92
神奈川県	0.69
新潟県	1.17
富山県	0.04
石川県	0.19
福井県	0.15
山梨県	0.02
長野県	0.25
岐阜県	0.16
静岡県	0.54
愛知県	1.38
三重県	2.35

人/定点
0.56
0.49
0.58
1.05
0.40
0.35
0.62
0.42
0.23
0.93
1.79
0.32
0.15
2.34
1.50
0.77
0.26
5.26
3.99
1.86
7.34
20.07
0.44
1.26